

えほんだより

令和2年10月15日
社会福祉法人愛光会
袋井ハローこども園

涼しさを感じる虫の声に、色づく木々…秋の深まりを感じる頃となりました。10月27日から11月9日は秋の読書週間とされています。本に親しみ、楽しもう！というこの1週間。ぜひ、園の絵本コーナーで様々な絵本に触れたり、図書館に行って新しい絵本に出会ったりと、絵本への興味を広げてみて下さい。園でも担任がお勧めする絵本を子どもたちに読んだり、友だち同士、好きな絵本を見せ合うなどして、絵本を通して楽しさを感じる機会を作っていきたいと思います。



～秋のおすすめ絵本～

「おつきさまこんばんは」



作：林 明子
出版社：福音館書店

「よるになったよ」「おつきさままだ」「おつきさま こんばんは」。空に浮かぶまんまるのお月さまを、赤ちゃんは不思議な生きものように見つめているのかもしれない。最後に笑っているお月さまの笑顔が登場するたびに、安心して喜ぶようですよ！

「さつまのおいも」



文：中川ひろたか
絵：村上康成
出版社：童心社

おいもは土の中で暮らしています。ご飯も食べるし、歯も磨く。トイレにも行くし、お風呂にも入ります。そして、みんなでトレーニングをしています。おいもの畑に子どもたちがいもほりにやってきて…さあ、子どもたちとおいもたちの、つなひきです！

「どうぞのいす」



作：香山美子
絵：柿本幸造
出版社：ひさかたチャイルド

うさぎくんが椅子を作りました。そして、「どうぞのいす」の看板をそばに立てました。ある日、ろばさんが椅子にドングリを置いておくと…。「どうぞのいす」から思いやりの気持ちがつながる、何度読んでも飽きのこない絵本です。

「ばばあちゃんの やきいもたいかい」



作・絵：さとうわきこ
出版社：福音館書店

秋も深まったある日、子どもたちと落ち葉を集め、たき火をはじめたばばあちゃんのお目当てはもちろん、やきいもです。でも、子どもたちに誘われて、サツマイモだけじゃなく、ジャガイモやミカン、柿やお菓子までもたき火のなかにいれはじめました。さあ、どんなやきいもパーティーになりますか…。

＜絵本を読むときのポイント＞

- ゆっくり、はっきり、心を込めて読む。
- 大きな声や身振りをつけるのではなく、声の高低などで変化をつける。
- 大人からの質問などで話を中断しない。
- 言葉の少ないページも絵を丁寧に見せる。
- 表紙のタイトル、作者名を伝える。

＜絵本選びのポイント＞

- 子どもが興味を持っている。
- 子ども達が理解でき、発達に合っている。
- 声に出した時に言葉の響きが心地よい。
- 繰り返しなどのリズム感がある。
- 言葉や絵に豊かな表現力がある。
- 大人と子どもと一緒に楽しめる。